

「おおおけやき」では、上毛新聞のジュニア俳壇・シユニア詩壇・青春短歌に掲載された本校児童の作品をご紹介します。

俳句の部

校庭で風が遊ぶよ冬休み
三年 内田 たかのり

ばあばんちこたつのなかはあたたかい
三年 みうら なおと

公園にいつても冬はだれもいない
四年 大竹 浩

水仙は祖母思い出す冬の花
六年 茂木 菜々美

やせた木にぽつんと一つ柿残る
五年 布下 蒼梓

空っ風かみの毛ざわざわさわいである
二年 布下 詩織

冬休みなにして遊ぼうとれにしよう
五年 永田 虎汰

夜のかげ犬がしんばいねむれない
六年 山崎 真依

うぐいすが春の色を着ているよ
五年 布下 蒼梓

寒い朝鳥さんたちもあさねぼう
六年 和田 悠叶

冬の風電線ゆらして消えてゆく
四年 杉田 美月



家族でね一番星探す冬の空
五年 布下 蒼梓

おふとんをおでこまでかぶり冬こもり
五年 諏訪 瑞季



春の水土にスーッとしみわたる
六年 佐藤 璃音

雪の朝白い光に目が覚める
六年 千葉 志織

春の水土におちてくかがやいて
六年 井上 栞那

春の水春が来たよと首たてる
六年 戸塚 環

